

北茨城

北茨城市磯原町
木皿の大塚電機
は、マイクロコン

ピューターを内蔵したプラスチック製の擬似ホタル「和みほたる」を製作している。実際のホタルの発光データを使った、自然の光が魅力。「優しい光に癒やされる」と、じわじわとファンを増やしている。

擬似ホタルは体長約4センチで、オスとメスがあり、光り方はそれぞれを再現している。充電式の小型電池で発光する。

孫の笑顔に奮起

開発したのは6年ほど前。社長の蛭田栄治さん(67)が、夕涼み中にホタルが飛び、それを見た孫が大喜びしたのを見て、「ホタルで町おこしがで

実際の光を再現 回路設計の大塚電機が販売

癒やしのロボホタル

きるかな」と思いついたのがきっかけ。開発には、回路や基板の設計や組み立てなどを行っている同社の技術を

利用。光は、ホタルが発光している様子をビデオカメラで撮影し、その映像をデータ化した。光の色は、高輝度LEDと、何枚

も重ねたカラーフィルターで再現した。イベントでも好評
市内や県外のイベント



社長の蛭田さんと孫の陽貴君。右上は発光する「和みほたる」

にも参加、粘土などで手作りしたジオラマに展示したところ、「ジオラマもほしい」という要望があり、商品化した。「職員みんなでアイデアを出し合って、楽しみながら作っています」と、開発課の林久美子さん。

ホタルの光を利用した新商品も考案中という。「忙しい現代、ホタルの優しい光で一息ついてもらえたら」と蛭田さん。

商品は、オスとメスのセットと、専用の充電器がついて6480円。1匹ずつでも販売(1匹各2160円)。同社のほか、同社ホームページからも購入できる。

同社 ☎0293-432273(月～金曜、午前9時～午後5時)。